

平成 26 年度
発達障害の可能性のある児童生徒に対する早期支援・教職員の専門性向上事業
(発達障害理解推進拠点事業)
成果報告書 (概要版)

施機関名 (鹿児島県教育委員会)

1. テーマ

連携型小中一貫教育の中で発達障害に関する教員の理解を深めるとともに、拠点校・理解推進校の中核教員を核とした理解推進地域の特別支援教育の充実と連携を図るための取組について

2. 問題意識・提案背景

理解推進地域の小・中学校における特別支援教育の支援体制は一定程度整備されているが、校内委員会を中心とする機能化や卒業、移行期の連携については、まだ十分とは言えない現状がある。そのため、特別支援学校の巡回相談を活用し助言等を得ているが、特別支援学校のセンター的機能にも限界がある。そこで、地域の中学校区を中心に各学校間の連携を図り、互いに特別支援教育の体制を整える必要がある。

本事業では、中核となる学校を1校、拠点校として設定し、そこで支援体制の整備や研修プログラムの体系化等を図りながら、特別支援教育全体の充実を目指す。また、拠点校の中核教員が中心となり、理解推進校にそのノウハウを伝えることで理解推進校の教員一人一人の発達障害に関する専門性を向上させるとともに、学校間の連携を強化し、理解推進地域全体における特別支援教育の支援体制における充実を図りたいと考える。

3. 拠点校について

○ 拠点校一覧

設置者	学校名 (ふりがなを付すこと)
かごしまけん さつませんだいし 鹿児島県 薩摩川内市	さつませんだいしりつ かめやましょうがっこう 薩摩川内市立 亀山小学校

○ 理解推進地域内の学校一覧

設置者	学校名 (ふりがなを付すこと)
かごしまけん さつませんだいし 鹿児島県 薩摩川内市	さつませんだいしりつ えのしょうがっこう 薩摩川内市立 可愛小学校

かごしまけん さつませんだいし 鹿児島県 薩摩川内市	さつませんだいしりつ いくえいしょうがっこう 薩摩川内市立 育英小学校
かごしまけん さつませんだいし 鹿児島県 薩摩川内市	さつませんだいしりつ せんだいきたちゅうがっこう 薩摩川内市立 川内北中学校

4. 拠点校における取組概要

- ・ 特別支援学校退職教員（以下、経験者）による授業参観を基にした指導助言とケース会議の実施（週2回）
- ・ 経験者による職員研修の実施（全体研修2回）
- ・ 経験者による特別支援教育担当教員への研修
- ・ 校内の支援体制づくり，研修プログラムの体系化（発達障害の可能性のある児童生徒の理解や支援に関する段階的な研修の推進，教材の共有化）
- ・ 特別支援教育担当教員（中核教員）による理解推進校での職員研修の実施
- ・ 理解啓発授業の実践（6学級各1回）
- ・ 特別支援教育担当教員による保護者や地域への障害理解の推進

5. 主な成果

- ① 経験者や中核教員による指導助言・ケース会議により，拠点校・理解推進校ともに発達障害等に対する教員の個々の専門性が向上し，授業場面で児童生徒一人一人に応じた指導・支援の充実が図られた。特に拠点校においては，発達障害の可能性のある児童への校内の支援体制が整い，支援事例や発達段階に応じた支援教材等がまとめられた。それらを基に理解推進校でも校内の連携体制づくりが進められた。
- ② 中核教員等による拠点校・理解推進校での発達障害等に対する専門的な理解と対応などの向上に向けた職員研修により，教員一人一人の発達障害に関する正しい知識の習得と適切な指導・支援につながった。拠点校においては，実施した研修内容を基に，研修プログラムを体系化した。
- ③ 拠点校において行われた理解啓発授業を基に，理解推進校でも理解啓発授業が行われ，児童生徒への障害理解が推進された。また，特別支援教育便りなど，各校で作成された発達障害の理解に関する啓発資料等の情報交換を行うことで，拠点校・理解推進校の保護者や地域への障害理解を深めることができた。また，本事業で作成したパンフレットを活用し，保護者等への障害理解啓発がなされた。
- ④ 発達障害専門性向上検討会議において，拠点校・理解推進校の実践研究の計画や研究結果の分析・考察等を行うことで，関係機関と連携した支援体制の

確立について検討がなされ、研究のねらいの達成に向けた推進が図られた。

⑤ 川内北中校区小中一貫教育合同研修会で事業成果を発表したり、成果報告会（シンポジウム）を開催し、発達障害児支援の在り方について協議を行ったりすることで、理解推進地域全体への成果普及に努めることができた。

6. 今後の課題と対応

〈 課 題 〉

- ・ 平成25年度の実践を基に、拠点校・理解推進校で連携した実践研究が推進されたが、拠点校での研修プログラムの体系化に時間がかかり、それを理解推進校で十分に実践するまでには至らなかった。
- ・ 拠点校や理解推進校の実践研究を還元する機会を設けたが、現時点では理解推進地域の他の中学校区や県下への還元に至っていない。

〈 対 応 〉

- ・ 今後も、理解推進地域の小中連携会等を活用し、拠点校と理解推進校で情報交換を行う機会や連携した取組を行う機会を設け、研修プログラムの共有化や、支援体制の充実を継続して図る。
- ・ 拠点校と理解推進校の実践研究の成果は、研究報告としてまとめ、県のホームページ等で紹介することで県下へ還元する。また、発達障害等に関する職員研修資料や支援事例など、これまで拠点校、理解推進校で作成した発達障害に関する支援資料をまとめ、研修プログラムとして県のホームページ等で紹介するとともに、県主催の特別支援教育関係の研修会等でも活用し、還元する。

7. 問い合わせ先

組織名：

- | | |
|-------------|-----------------------------------|
| (1) 担当部署 | 鹿児島県教育庁 義務教育課 |
| (2) 所在地 | 鹿児島県鹿児島市鴨池新町10番1号 |
| (3) 電話番号 | 099-286-5296 |
| (4) FAX番号 | 099-286-5669 |
| (5) メールアドレス | tokubetusien@pref.kagoshima.lg.jp |